

憲法改正の意義を広める国民運動組織「美しい日本の憲法をつくる国民の会」（共同代表・櫻井よしこ氏ら）が全国縦断キャラバン等を行うなど、宣伝を強めています。安倍首相が5月に表明した改憲の内容をもとに必要性を訴えるとともに、改憲の国民投票を見据え、地方によっては選挙区ごとに運動組織を新たに作る取り組みを進めています。

5月3日に安倍首相が表明した「9条の1項、2項を残しつつ、自衛隊（の存在）を（第3項として）書き込む」とのメッセージを元にキャラバンでは、「平和と安全を守ってくれているのは自衛隊でも、1文字も書かれていない。憲法に明記し、自衛隊がしっかり任務を果たせるよう感謝のメッセージを伝えましょう」と訴えています。

一方、改憲の国民投票を見据え、組織体制整備などハード面でも力を入れ始めています。8月に前橋市内で開かれた「美しい日本の憲法をつくる群馬県民の会」の会合では、衆院1～5区の小選挙区ごとにネットワークを作り、連絡体制を整えることが報告されました。既に各区で代表者が選ばれ、今後、啓発活動や運動方針、対策などを検討しているとのこと。

東京憲法会議の話では、都内でも都営住宅に下記の「ありがとう自衛隊」「憲法に自衛隊を明記しよう！」と書かれたチラシが全戸配布され、駅頭での宣伝も行っているとのこと。



各地のとりくみ

宮城 3000万署名推進センターみやぎ発足

3000万人署名を宮城県内全域で推進していくために、11月21日に白石弘重、佐藤修司、板垣乙未生(以上、県民運動連絡会事務局メンバー)、遠藤義輝(みやぎ生協労組)、高橋正利(宮城革新懇)の5人で「3000万署名推進センターみやぎ」の発足世話人会を結成し、県内の関係団体に呼びかけて12月11日(月)フォレスト仙台2F第6会議室にて発足会議を開催しました。

会議には29団体、33人が参加し、3000万人署名を成功させるために、県内達成目標数の共有化・活動状況の把握(組織の目標、達成状況など)・情報の交流と拡散、共同行動の設定と呼びかけ・学習会の開催などを進めることになりました。



全構成組織が参加する「センター会議」を適宜開催しながら、日常的には事務局機能を担う「センター世話人会」を10人程度で開催して進めます。

会議に参加した鹿島台憲法9条の会では町民4人に1人、5000筆を集めきるために一軒一軒より署名をもらうように署名数の3倍の用紙を準備し、1回目は新聞折り込み、2回目は全戸配布、3回目は戸別訪問ときめ細かく活動する予定とのこと。

センター連絡先は下記

郵便物：981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル4F

宮城県教職員組合気付 3000万署名推進センターみやぎ

携帯：080-8206-3511 FAX：022-276-5160 メール：info@9jou.jp

東京 憲法共同センター高田馬場、新宿で3000万署名宣伝

12月12日、東京憲法共同センターは、地評宣伝カーで、「あなたの一筆が平和な世界をつくる」という署名の歌の入ったテープを流しながら、池袋から高田馬場駅、新宿駅西口と、宣伝しました。高田馬場駅では、2人が話しかけて来ました。「野党共闘で闘わなくちゃダメだよ。東京10区も共闘すれば勝てたかもしれないだよ」と。もう一人は、「障害者の施設で働いている。安倍はダメだ。顔を見るだけでいやになる。がんばって!」と激励。新宿では、85歳の女性「戦時中、疎開して大変なめにあった。戦争は絶対だめ」といって署名しました。弁士は東京自治労連の田原、東京民医連の杉浦、東京原水協の石村、東京革新懇の松元の皆さんでした。

なお、12月8日は大塚駅南口でオール大塚11団体40人の参加し、3000万人署名を56筆集約。チラシを550枚配布できました。

<東京革新懇 mailfax ニュース>

安倍9条改憲NO!全国市民アクション
3000万人署名 宣伝セット

申込書

▶のぼり
▶横断幕
▶ポスター

セット内容
のぼり2枚・横断幕1枚・ポスター3枚

代金引換

サイズ:H450×W1500
サイズ:H700×W2000
サイズ:A2 (H594×W420)

販売価格 1セット2,000円(税込)

※ご注文は、「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」(☎03-5280-7157)まで